

# 野外活動におけるマムシへの対応

## 【マムシの特徴】

- ・頭の形がやや長い三角形。
- ・大きな銭型斑紋がある。

## 【マムシに噛まれないために】

- ・マムシを見かけたら、刺激しないでその場を立ち去る。



## マムシに噛まれた可能性のある症状

噛まれた局部が

(噛まれた直後から) やけどのような激痛を感じる。  
腫れ上がり、だんだん体の中心に向かってひろがってくる。  
内出血が起こり、紫色を帯びてくる。

全身症状

吐き気、嘔吐、頭痛、発熱、下痢、視力の低下、しびれ  
運動障害、血圧低下、意識障害、腎不全、溶血など

## マムシに噛まれたときの対処法

- (1) **早期に119番(消防)に連絡し、マムシに噛まれたことを伝え、速やかに救急車を要請する。**  
※ 自分のいる場所(緯度・経度)を消防に伝える。  
※ ヘビの種類が分からないときは、噛まれたヘビの特徴を伝え、消防の指示に従う。
- (2) **安静を保てる場所**に移動させて、**患者や患部を動かさない**ようにする。  
※ 可能であれば救急車の入れる場所へ担架などで移動させる。
- (3) 傷口の5~6cm上(心臓に近い部分)をタオルなどで、**強くない程度に縛る。**  
※ **約10分おきに1分程度タオルを緩める。**  
※ 静脈が軽く浮き出る程度とし、あまり締めすぎない。
- (4) 噛まれた箇所を心臓より低い位置に保つ。
- (5) **きれいな水で洗い**、清潔を保つ。
- (6) **水分を多めに取り**、毒素を薄めるほか、毒素排出のため**排尿を促す。**

## 禁止事項

- 氷などで患部を**冷やさない**(冷やしてもヘビの毒には効果はない)。
- 患者を**歩かせない(心拍数を上げない)**。
- 水分摂取による**排尿を我慢させない**。

## 救助者が守るべきこと(赤十字社ホームページより抜粋)

- 医薬品は使用しない。
- あくまでも医師または救急隊などに引き継ぐまでの手当てにとどめる。

## 緊急連絡先

(救急車等出動要請) 119番

(最寄りの消防本部) 【 \_\_\_\_\_ 消防本部】  
(TEL \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_)

作成：三重県林業研究所 協力：津市白山消防署

参考：赤十字社HP「救助者の守るべきこと」、林業・木材製造業労働災害防止協会「林業実践ブック(基本技術と安全管理)」